

## 深紅の色

市川茂子

すすき原テレビに映りなつかしく仙石原の旅を思うも

旅に見しパンパスグラスの原に立つ友と二人の写真出で来る

ひと言を思いわずらいやり場なく胸処めぐりて一日過ぎたり

重ね来し齡に昭和、平成の思いはるかに改元を待つ

澄みわたる空に己れの来し方を放って在りたし改元の時

ビルの上<sup>へ</sup>にかかる満月見つつゆく闇にただよう冷気まといて

身にしみる風に吹かれて並木路を言うべき言葉さがして歩く

陽の入りし部屋に深紅の色映えてシクラメンの鉢たまわりたれば

雲一つなき今朝の空を見渡して友の息子の結婚式よ

双の翼広げ飛び立て若夫婦われもひそかに喜びており